

令和4年度新技術説明会 開催概要

新技術説明会とは、大学、高等専門学校、国立研究開発法人の研究成果（特許）を実用化（技術移転）させることを目的として、新技術や産学連携に興味のある企業関係者に向けて、研究者（＝発明者）自らが直接プレゼンする特許の説明会です。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、オンライン形式（ウェビナー形式）を基本とします。ただし、発表機関が希望する場合は、対面での開催も実施いたします。

1.開催日

原則として令和4年5月10日（火）から令和5年3月14日（火）までの火曜日、木曜日。

令和4年 (2022年)	5月	5/10 (火) 5/12 (木) 5/17 (火) 5/19 (木) 5/24 (火) 5/26 (木) 5/31 (火)
	6月	6/2 (木) 6/7 (火) 6/9 (木) 6/14 (火) 6/16 (木) 6/21 (火) 6/23 (木) 6/28 (火) 6/30 (木)
	7月	7/5 (火) 7/12 (火) 7/14 (木) 7/19 (火) 7/21 (木) 7/26 (火) 7/28 (木)
	8月	8/2 (火) 8/4 (木) 8/9 (火) 8/18 (木) 8/23 (火) 8/30 (火)
	9月	9/1 (木) 9/6 (火) 9/8 (木) 9/13 (火) 9/15 (木) 9/20 (火) 9/22 (木) 9/27 (火) 9/29 (木)
	10月	10/4 (火) 10/6 (木) 10/11 (火) 10/13 (木) 10/18 (火) 10/20 (木) 10/25 (火) 10/27 (木)
	11月	11/1 (火) 11/8 (火) 11/10 (木) 11/15 (火) 11/17 (木) 11/22 (火) 11/24 (木) 11/29 (火)
	12月	12/1 (木) 12/6 (火) 12/8 (木) 12/13 (火) 12/15 (木) 12/20 (火) 12/22 (木)
令和5年 (2023年)	1月	1/10 (火) 1/12 (木) 1/17 (火) 1/19 (木) 1/24 (火) 1/26 (木) 1/31 (火)
	2月	2/2 (木) 2/7 (火) 2/9 (木) 2/14 (火) 2/16 (木) 2/21 (火) 2/28 (火)
	3月	3/2 (木) 3/7 (火) 3/9 (木) 3/14(火)

2.開催方法

オンライン開催を基本として実施します。対面での開催は、発表機関の要望により設定し感染状況を踏まえて実施いたします。

	オンライン開催	対面の開催
発表	ウェビナー形式で発表 発表時間内の質疑応答はなし	JST 別館大ホールにて発表 (+後日のオンライン配信) 発表時間内の質疑応答はなし
名刺交換	質問ルームを開設	開催日当日に対面で実施
個別相談	後日発表機関にて実施 (希望者を JST にて取り次ぎ)	開催日当日に対面で実施 後日発表機関にて実施 (希望者を JST にて取り次ぎ)
聴講方法	オンライン聴講	対面での聴講 (JST ホール：最大 50 名まで) (+後日のオンライン聴講)

3.開催形式

- (1)一機関による単独開催、もしくは、複数機関による合同開催
- (2)複数機関による合同開催については、テーマ・分野を設定した上での開催となります。
(幹事機関を設定し、幹事機関が参画機関を取り纏め JST との一元的な窓口となるようお願いいたします。また継続して参画機関と相互にご協力ください)

4.開催時間

- (1)開催は 10：00～15：55 内で開催し、1日の最大発表件数は 12 件となります。
- (2)発表時間は 1 件 25 分 (+5 分休憩) です。
原則として以下のような開催時間となります。
発表件数 4 件 : 午前 (10：00-11：55)
発表件数 5 件 : 午後 (13：30-15：55)
発表件数 6 件以上 : 終日 (10：00-15：55)

5.開催費用

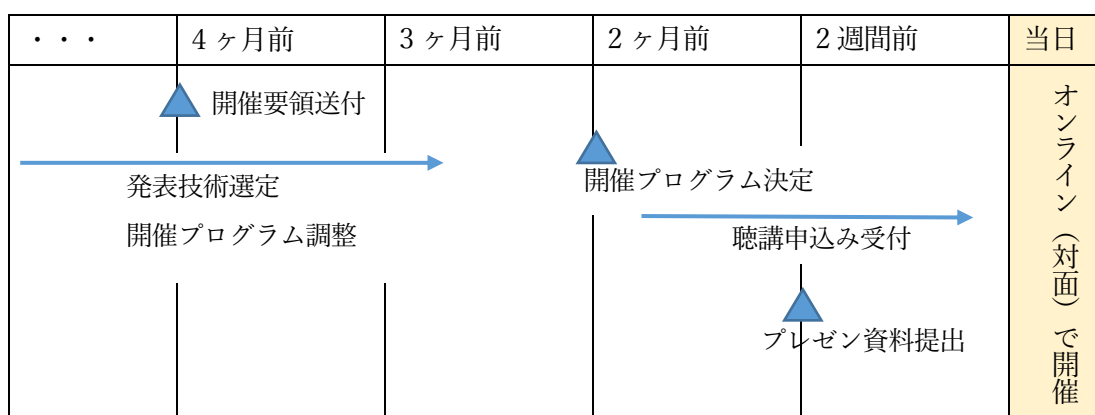
無料

6. 発表にかかる要件

- (1)産学連携活動による研究成果・特許技術の技術移転を目指す大学・公的研究機関であること。
- (2)発表後もマッチングのフォローアップができること。
- (3)新技術説明会事業趣旨を理解し開催要領に則り JST と協力して開催いただけること。
- (4)新技術説明会開催直後および約 5 年間に渡る追跡調査に回答いただけること
- (5)新技術説明会の趣旨に沿った発表技術(特許技術)を選定し、発明者本人が発表すること。
- (6)発表技術は、過去に新技術説明会で発表していないこと
- (7)単独開催・合同開催ともに発表件数を 4 件以上とすること。
(※単独開催は、年度毎に 1 回のみ可能です。)

7. 開催までのスケジュール

- (1)原則として開催 4 ヶ月前頃に開催要領をお送りします。
- (2)開催プログラムは、開催約 2 ヶ月前までに確定してください。それ以降の変更はご遠慮ください。



<本件に関するお問い合わせ先>

国立研究開発法人科学技術振興機構

産学連携展開部 産学連携プロモーショングループ

Mail : jstshingi@jst.go.jp

以上